

会報 しんせき 第 62 号

平成29年7月30日

発行責任者

新関コミュニティ協議会
会長 小島清彦

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

新関コミュニティ協議会：新潟市秋葉区下新364-1 TEL0250-47-4640

(新関コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。)



弾ける笑顔

お年寄りと握手して回る園児

葉月みなみ歌謡ショー

北陸地方はいまだに梅雨明け宣言がありません(まもなくか)。7月に入って日本全国各地に豪雨の連続。テレビからはすさまじい映像が映し出されてきます。泥水が川にあふれ、ものすごい速さで流れていく、流木が民家を突き破っていく、土石流が巨大な岩を伴って民家に襲いかかっていく、また、巨大な雹が突如都心を襲う・・・一体、地球はどうなったのでしょうか。

県内も大変でした。佐渡市、五泉市：：新関も同様で、河川敷で作物を栽培されている農家もかなりの被害を受けたとのこと。人的被害はなかったものの今後、より一層防災の備えが必要です。

新関コミ協は4月以来今日まで、たくさんのお事業行ってきました。ハードだったな、大変迷惑をおかけしたなどの思いが強いのですが、その都度自治会様や老人クラブ様、民生委員様や関係団体様、地域の皆様から格段のご理解とご協力をいただきました。感謝申し上げます。

さて、子供たちは、夏休みに入り家庭に戻りました。自治会も地域行事が計画されています。地域を盛り上げる機会です。世代間交流の絶好の機会です。将来を担う子供たちの楽しい夏の思い出づくりになります。

自治会行事のご盛会、ご活躍をお祈りいたします。

新関コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。

葉月みなみさん熱唱

葉月みなみ歌謡ショーで笑顔満開 七夕福祉の集い 7.2



- ◆声量豊か、歌唱力抜群の葉月さんの懐かしい演歌に魅了され、参加者一様に大満足。お顔のゆるみが解けませんでした。
- ◆市内中央区からも葉月さんの応援団が（17名）が駆けつけ、会場はかつてないほどの盛況ぶりでした。参加者130余名



- ◆ご来賓の秋葉区社会福祉協議会池田様の挨拶の中で、「新関さんは、この種の催し物に、地域住民、お年寄り、園児や小学生など世代間の交流が行われていることに感心する」と話してくださいました。大変心強いお言葉でした。
- ◆七夕福祉の集いを開催するにあたり、自治会や老人クラブなど、多くの方からボランティアとして事前の準備や当日の役割を担っていただきました。感謝申し上げます。
- ◆新関小学校・おひさま保育園からもたくさんの七夕の短冊を書いていただき大変ありがとうございました。

地震だ！洪水だ！停電だ！ 新関地域の防災の日

新関一斉に避難・安否確認訓練・夕方からは停電を想定した炊き出し訓練実施 ⑥ 25



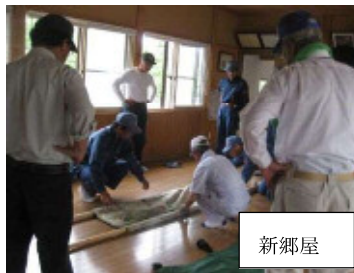
小口



六郷



大関



新郷屋



金屋



岡田



市新

◎6月26日、新関地域一斉に避難安否確認訓練を実施。今年で5年目です。災害の想定は各自治会の考えに委ねました。
(六郷は水害・他は地震を想定)(下新は都合により前倒しで実施。)

◎夕方からは、午前中の訓練の情報交換会、そして、**停電を想定し発電機を使った**避難所での炊き出し訓練を行いました。

◆最初の**情報交換会**では、各自治会で実施した内容の紹介、成果や課題などを発表。お互いに共有できました。

◆炊き出し訓練では、今回揃えた**発電機を使い、投光器の灯り**のみで炊き出し訓練。

赤い羽根共同募金助成に応募したところ、これまでの新関の取り組みが評価され助成が認められ購入したものを。

災害時には必ずと言ってよいほど停電が伴います。防災訓練時はもちろん定期的にエンジン起動し、もしもの時に備えておきます。



消防団：広報活動地域を回る



情報収集にあたる対策本部



情報交換会



発電機一式



発電機使用講習



投光器の灯りを頼りに炊き出し訓練



県内も豪雨

佐渡50年に一度の大雨

7月に入り、豪雨が九州や秋田を襲いました。そして県内も次々と集中豪雨に襲われました。新関自主防災もその都度新関コミセンに対策本部を設置し備えました。7月4日の豪雨では小口クリーンセンターに避難所開設。また、18日の豪雨では新関小学校に避難所が開設されるなど緊張感が走りました。公会堂に対策本部を設置した自治会もありました。

小学校は児童の引き渡しを行い、保護者や家族が体育館で名簿に署名し子供と一緒に帰りました。6月12日の三者合同(保・小・コミ協)の避難訓練の際に行った**引き渡し訓練**が役立ち、緊張感の中にもスムーズに進められたようです。



テレビの天気予報を見ていると、7月に入り台風が太平洋に発生しています。しかも動きの遅い迷走台風があり、進路によっては、また各地に大雨が心配されます。県内も油断できません。

新関自主防災組織は、これまで災害に備えた訓練を毎年実施していますが、最近の極端なゲリラ豪雨から日頃の訓練はおろそかにできないと改めて思いました。

支えあいの仕組みづくり 一歩踏み出す

超高齢化社会を迎え、「健康寿命の維持増進」が大きな課題となってきました。新関コミ協では7月26日に「今なぜ支えあいのか」「なぜその仕組みづくりが必要なのか」などを秋葉区社会福祉協議会の池田様、曾我様にお出でいただき学習会を行いました。大変わかりやすい講話でした。

講話の後、グループで自治会や老人クラブが抱える諸問題を出し合いました。意欲的な話し合いとなり、**すぐ近くにある自治会ごとの「お茶の間」**（すでにできている自治会もある）の立ち上げに向けて一歩前進することができました。

まずは集まる。そして、**お互いにしゃべる・歌う・踊る・体操をする・自分たちでできる地域貢献をする・飲む・みんなで出かける・楽しい学習会をする・地域行事に参加する**・



など、これまで自治会や老人クラブ、サークルなどでやってきた様々な活動を、少し意識や角度変えてみることで支えあいの仕組みができそうな気がしてきました。

新郷屋地内にある運動場第2多目的広場の 除草と活用について考えを聞く会開催

新郷屋の土手沿いに土砂が置かれて何年か経ちました。草がびこり狸など動物が棲みついている状態が長く続き、これまで地元自治会が草刈りを余儀なくされてきました。昨年秋葉区の地域懇談会で大きな地域課題として取り上げ、解決をお願いしました。以後（以前からも）除草と同時に有効活用についての話が出ておりました。今回これを受け、考えを聞く会を開催したものです。なるほどと思うアイデアが語られました。防災施設・駐車場・公園：まずは地元住民が長年願ってきた草刈りの必要がなく、安全で通行にも妨げのない環境整備、地元自治会の意向を尊重しながらの対応と考えています。



甦る「白銀の一本松」

しろがね

大関のはずれにある「白銀の一本松」が突然枯れてしまいました。由緒ある松だけに惜しんでおりましたが、地元大関自治会が「代目」々となる松を植えられました。これで各所が維持できることになりうれしく思います。



「白銀」とは地名のことです。この辺は田が広がり、白銀色の稲の花がやがて秋に魚沼産「シヒカリ」にまけないほどの美味しい米となることから名づけられたと伝えられる。そして、この広い田の一角にたたずむ一本の松が、働くお百姓さんたちを励ますように見ていることから誰からともなく「白銀の一本松」と呼ぶようになった。故伊藤敏雄さんのお話を参考にした。

活躍続く

新関少年野球
フエニックス

- IBAカップ：準優勝（4月）
- 高円宮賜杯：準々決勝進出（5月）
- さわか杯：優勝（6月）
- 秋葉区少年野球大会：優勝（7月）



再び活気

新関の女子ミニバスケットボールチーム

「秋葉東キッズアラブ」

チームに再び活気戻る

一時部員不足のため存続が危ぶまれて

いましたが、関係者の努力で復活を遂げました。

がんばれ！

